

「認知症」って何だろう？」 認知症サポーター養成講座

～お年寄りを元気にできる子どもの力～

道徳 総合（福祉・介護）

- (1) ねらい
- ① 認知症はだれもがなりうるものであり、多くの人にとって身近なものであることを理解する。また、家族や地域社会の一員として、自分たちにできることは何かを考え、行動につなげることが、認知症の人やその家族と共に生活するために大切であることを学ぶ。
 - ② 介護・福祉教育を通し、人権意識の向上を図る。

- (2) 対象
- ・小学4年～中学3年生（低学年は応相談）
地域・保護者の方にもご案内をお願いします。
「道徳授業地区公開講座」等で保護者も一緒に参加していただくと効果的です。



- (3) 講師 キャラバン・メイト （高齢者みまもり相談室職員、地域住民等）

※「キャラバン・メイト」とは・・・「全国キャラバン・メイト連絡協議会」が認定する「認知症サポーター養成講座」を開催できる講師のことです。

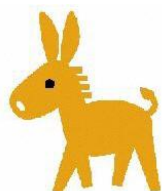
- (4) 形式 所要時間 1～2 単位時間 （土曜授業可）
・学級ごとに、学年でなど、いろいろなやり方ができます。

- (5) 内容 認知症サポーター養成講座

講話や映像（DVD）等を通して、以下のような内容を学びます。

- 例) ① 年を取るとどうなるの？…【みんなで考えてみよう】
② 認知症ってなんだろう？…【認知症について正しく理解しよう】
③ 認知症の人の気持ちはどんなかな？…【気持ちを想像しよう】
④ 認知症の人との接し方…【温かい目で見守り、応援しよう】
（良い・悪い声の掛け方を学び、実際に体験してみよう）
⑤ 私たちにできることは何だろう？…【グループで考えてみよう】

※ 小学生用・中学生用の分かりやすい教材を用意します。



- (6) 費用 「無料」 授業前後、児童・生徒にはアンケートのご協力をお願いします。

- (7) 申込み 出前授業申込書 実施日2か月前まで ⇒ 学校支援ネットワーク本部へ送付
当本部から区役所高齢者福祉課を通して講義を担当する高齢者みまもり相談室に連絡を取ります。
詳細は、高齢者みまもり相談室職員と学校担当で打ち合わせてください。